

第10回災害対策本部会議議事録

日時：平成23年3月18日（金）9：30～10：15

- 土木部長：県管理の道路情報については、県のHPに掲載し、毎日更新する。
- 生活環境部長：洞峰公園と国際会議場の受け入れが進んできた。この2箇所については、つくば市と調整し、市で対応できるようになった。今後、猿島少年自然の家（450名）と県西生涯学習センター（380名）で受け入れ準備を始める。依然、人手が足りない状況で、避難所も増えてくるので、職員の動員についてお願いしたい。
- 原子力班長：放射線量は北茨城市で下がってきており、1マイクロヘルツ/時程度。バッテリー切れであった高萩市のモニタリングポストは、9時30分から測定可能となる。
- 商工労働部長：昨日、商工政策課内に相談窓口設置した。金融機関等への円滑な融資について要請を行う。本日から新たに災害対策融資を設定する。
- 企画部長：スカイマークのこれまでの3便に加え、本日は、羽田便、神戸便がそれぞれ1往復増便する。
- 土木部長：県営住宅に394戸空きがあるが、4月の募集を取りやめ、被災者用に募集を行う。募集方法は検討中。国の官舎にも3,164戸空きがあり、市町村へ連絡し、市町村から被災者用として、6市88戸の要望がきている。
- 農林水産部長：風評被害について、知事からのコメントを流通業者や量販店へ流したことにより、沈静化しつつある。国から農林水産物の安全基準が示された。本日からサンプル調査が行われ、明日結果が出る。
- 企業局：鱒川浄水場の復旧に向けて整備中であるが、神栖市は厳しい状況。水戸浄水場は、昨日、那珂市と大洗町で送水をはじめた。大洗は町の施設に被害が出ている。工業用水は間もなく送水できる見込み。
- 生活衛生課長：市町村水道は、日立市で7万戸の断水。専門家を呼んで集中的に対応している。
- 教育長：高校入試の2次募集は予定通り試験を行う予定。特別支援学校の入試は中止する。市町村の教育長等へアンケートの結果、精神的なケアが必要との要望があり、スクールカウンセラーの配置を対応したい。
- 自衛隊施設学校：1,400名が給水や給食などの支援を行っている。ニーズは減ってきている。17日は、水400トン、食事900食を支援した。引き続き支援を行っていききたい。水等の物資の輸送についても、前向きに検討していきたい。
- 東京電力：潮来で800件の停電が続いている。修復に向け人員や機材を集中し、対応しているが、100%の回復には3～4日かかる。節電について、東京電力と緊急災害の際に調整契約をしている企業をお願いをしており、県内でも、事前登録4社、緊急調整86社が該当。全国で、8,164社が契約にのっとり電力を落としている。福島の場合は、放射線量は下がり、次のステップに移る状況にあるのかどうか、詳しい情報は入っていない。

- 上月副知事：ガソリンの状況は、来週になれば変わってくる見通しはある。官邸をはじめ、もう一度アプローチをしてみる。JR は、今日から土浦まで運行開始したが、車両の点検体制が義務づけられており、勝田まで運行できないと対応できない。見通しがたてられない状況。義援金について、岩手県は単独の受入窓口があるが、茨城県では、大好きいばらきやふるさと納税があるが、単独のものはなかった。本日午前中に受入窓口をつくるようする。
- 科学技術振興監：つくば市の福島県からの避難者は、つくば市で対応することとなった。医療的な対応が必要な人が多数いる。保健師に加え、筑波大や東京医科大からも協力をいただいている。特に、福島の施設から出された人への対応が必要。家族単位で暮らせるようにすることも必要。医療や教育の面での相談体制も必要。市町村とよく調整する必要がある。
- 山口副知事：災害発生時に発注した、水や缶詰、アルファ米が続々と入ってくる。
- 上月副知事：つくばの公務員住宅（200 戸程度）は、水周りなど修繕が必要なものがある。国では今年度の予備費で修理を行うことも対応可能であるので、避難民を移すことであれば、早めに修繕をお願いする。
- 自衛隊施設学校：仮設住宅を建てる計画はあるのか。
- 土木部長：88 戸を設置予定。プレハブがいいのか、民間の借り上げにするのか、調整中。
- 知事：避難者のうち、弱者対策が必要。市町村と協議してほしいしなければならない。家族で住んだほうがいいのか、重篤な人は施設を斡旋するとか、避難者一人ひとりによく対応してほしい。避難所によって、物資が足りないなど、厳しいところには手厚く補給するなど、避難所の状況をよくつかんでおくように。
総合相談窓口を設置すること。3 階の相談センターでも構わないから、ワンストップで対応できるように。詳細は担当課で受けるようにすればいいから。今日にでも設置すること。
風評被害については、食品の検査体制について国に要請し、今日から検査ができるようになった。県内でも、6 ブロック 30 箇所検査する体制が整いつつある。市町村から安全宣言をしてほしいとの要望があるが、今日から実施する検査の結果がでてから判断したい。
電話をたらいまわししないように。よく話を聞いて、後から連絡するなど丁寧に対応するように。現場の声をよく聞いて、できるだけの対応をすること。